



地味なアイツ
が書き出しを
集めたらしい
よ

小高まあな

はじめに

本を選ぶ参考に、小説の書き出しだけを集めました。

(なお、必ずしも一文ではありません)

書き出しとタイトルだけで、あらすじなどは省いてあります。

書き出しだけでぴぴっと来たものがあれば、よければ本の方も手にとってみてください。

次回参加予定イベント

2015/5/4 文学フリマ イ64

2015/5/5 コミティア V03a

その桜は、あたしみみたいだと思った。

『調律師』

女は、足下を見下ろした。

人が豆粒のような小ささで歩いているのが見える。

スカートの裾が、風でふわりと揺れる。

一つ息を吸う。

そして女は、ビルの屋上から飛び降りた。

「このような理由で、単為生殖の方が生物学的には優れているわけですね。では、何故、雌雄に別れるのか？ その理由のひとつに、赤の女王説というのがあります」

『赤の女王様と椿姫と私』

「私と恋仲になって、そして心中して？」

『中曾根心中の心中』

イチヨウ並木の坂道を、ゆっくりと歩く。

『さよならの並木道』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）

僕は名探偵だ。

どんな難事件もたちどころに解決する。最短は一時間で、多くは二時間で、最長でもワンクールで。

『岩戸隠れの名探偵』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）

今よりほんの少し前、あるところに一人の少年がいました。少年は喋ることが出来ませんでした。少年には言いたいこと、伝えたいことが沢山ありました。だから少年は、毎日寝る前に神様にお願いしたのです。

『二枚舌』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録)

「タイムマシンが完成した」
と彼は言った。

『それはある意味絶望さ』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）

みんなは知らないけど、あたし、本当は魔法使いなの。ほんとよ？

『あたしは魔法使い』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）

隊長が皆の顔を見回して言った。

「いよいよ最後の決戦だ」

『兵どもが夢の跡』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）

しらゆきは、雪の日に消えた。

私の双子の姉だった。

『しらゆきべにばら』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）

非常に由々しき問題である。

『密会はいつだって三分間』（地味なアイツなりに色々考えているらしいよ。収録）